

柳井市は

スクール・コミュニティ

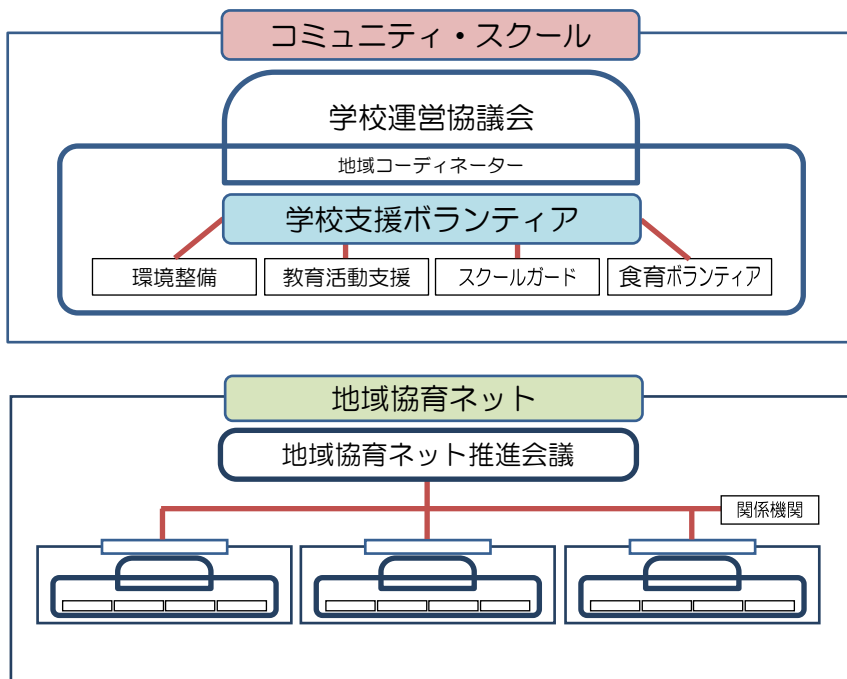
をめざしています



I スクール・コミュニティとは

学校を中心に、様々な年齢層の市民が交流を深め、新たな絆を生み出すことによって、学校、家庭、地域が一体となった人づくり、まちづくりをすすめる地域の在り方を示したものです。

II スクール・コミュニティづくりを進めるための3つのしくみ



学校運営協議会の様子



学校支援ボランティアの様子



小中合同研修会の様子

「まちの幸福論」— コミュニティ・デザインを学んだ子どもが、柳井市の未来を創造し、市民に向け発表します。このことが市民の中に「熟議」を生み出し、学校教育が「まちづくり」の拠点として機能し始めています。今年は、「夢のある市立図書館」が実現します。

7. わたしたちの提案(まとめ)

- 提案の内容
- ① 図書館といっしょに… カフェ レストラン 公園(中庭) 屋内運動施設
 - ② 図書館の中に… 売店(特産品売り場) 和室 カフェ 勉強コーナー 子ども預かりコーナー

ゆったりできて 観光客と市民もふれあえる 柳井ならではの図書館

写真は、柳井小学校の子どもの提案をもとに、市長や市役所職員、市民が、実現に向けた話し合いをしている場面です



III 重点取組事項

キーワード 「協働」 ～ 参画・共有・創造 ～

1 コミュニティ・スクールとしての取組内容の重点化と評価の充実

- ・保護者や地域住民の学校経営に対する参画意識の高揚、協働機会の実現等による、コミュニティ・スクールの学校運営の機能の充実
- ・学校経営に対する当事者意識を基盤とした学校関係者評価の実施
- ・学校と地域との交流の促進

【学校運営】

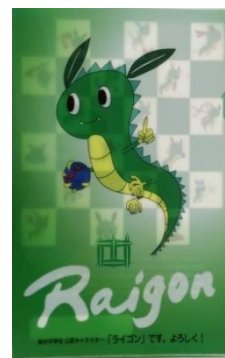
(1) コミュニティ・スクール運営推進書・経営案の策定

- ・従来の学校運営推進書を発展させ、コミュニティ・スクール運営推進書を作成

- ・従来の学校の役割に加えて家庭、地域の役割を明記し、学校経営に対する当事者意識を基盤とした協働の推進と学校関係者評価の実施
- (2) 学校運営協議会の充実(目標の共有と協働・熟議)
- (3) 保護者の参画意識を高めるためのPTA 総会、保護者会のもち方の工夫
- (4) 開かれた学校づくりの基盤となる情報発信
キャラクターの活用
 - ・学校だよりやWebページへの掲載、名刺の作成等によるキャラクターの知名度のアップ
 - ・キャラクターを地域のキャラクターとして活用



学校キャラクターのクッキー(柳井小)



学校キャラクターのクリアファイル(柳井中)

2 学校支援ボランティアの充実

- ・学校を中心としたボランティアの組織化とボランティアの年齢層の拡大(老・壮・青の連携)

【学校運営】

- (1) 学校を支える両輪として、学校運営協議会と学校支援ボランティアの連携を強化するために、地域コーディネーターの研修実施

【学校支援】

- (2) 学校による学校支援ボランティアの募集
- (3) 必要に応じて学校ごとのボランティア総会の開催
- (4) 保護者の学校支援ボランティア登録の促進

→子どもが卒業した後も学校の応援団として期待
→保護者の中から地域コーディネーターを発掘

新たな学校支援ボランティアの担い手の創出

3 地域協育ネットの推進

- ・地域協育ネットのテーマの設定と、モデル校区の小・中学校と地域が一体となって取り組むことができる具体的活動の実施
- ・地域協育ネットの特性や歴史を生かした、小・中連携による地域カリキュラムの作成

- (1) それぞれの地域協育ネットのこれまでの取組を踏まえて、さらに具体的な前進を



「柳井中コミュニティ」
1 地域1取組、生徒と地域住民が共に地域行事を企画する。



「しらかベネット」の「子ども広場」
柳井まつりで、子どもたちがちびっこ屋台を開く。

- (2) 地域の特色や歴史を生かした地域カリキュラムの作成

→教育振興基本計画の中の「地域肯定感」の育成→地域協育ネット推進会議やそれぞれの学校の学校運営協議会の議題として地域の方からもアイデアを募る→学校の専門性を生かして教材化



地域の方を招いての歴史講座



地域の方を招いてのアサギマダラの観察

○ 周防大島町における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

① 基本方針

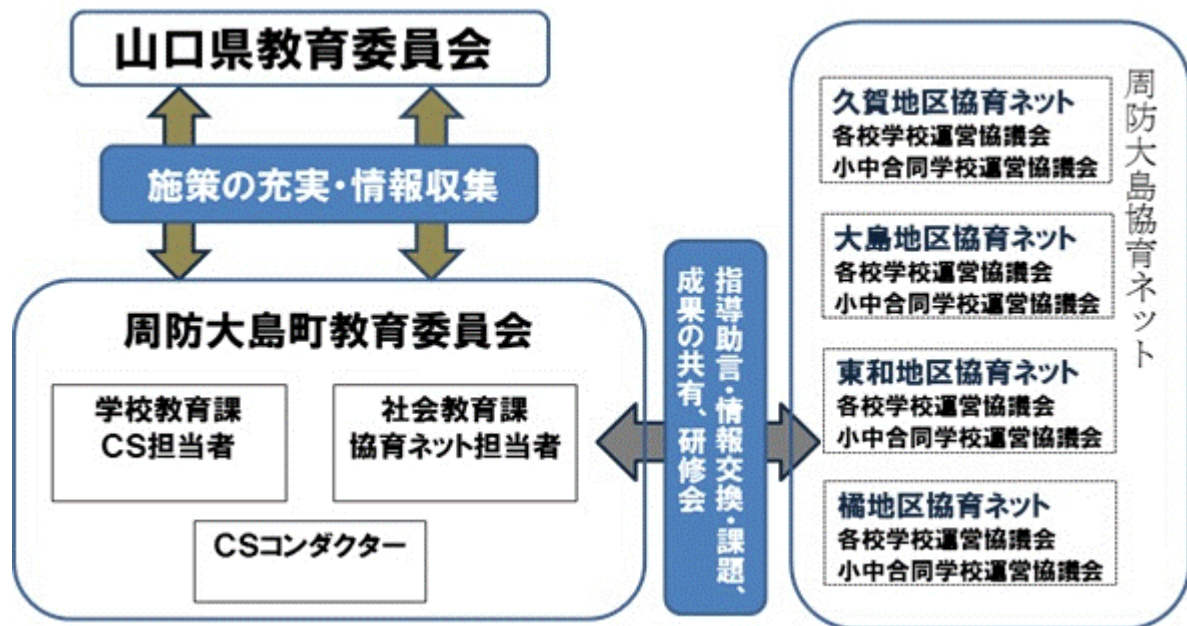
【基本目標】 自立・協働・創造～ふるさとに誇りがもてる人づくり・地域づくり～

未来の周防大島町を担う子どもたちが心豊かでたくましく育つためには、家庭や地域と学校の連携を強め、全ての町民が子どもたちの成長を支える仕組みづくりを推進し、つながりのある地域社会を創造することで、子どもたちの「生きる力」を育むことが必要である。

そこで、「生きる力」を自立（自ら生きる力）・協働（ともに生きる力）・創造（よりよく生きる力）と整理し、基本目標を「自立・協働・創造～ふるさとに誇りがもてる人づくり・地域づくり～」と定め、複雑高度な文明社会に立ち向かい、心豊かでたくましく生きる人材を育成することを本町教育の基本方針とする。

そして、基本目標達成のため、コミュニティ・スクールや協育ネットの仕組みを活用して、町民総がかりで取り組む。

② 推進体制



③ 周防大島町教育委員会の具体的な取組等

- ・ CSコンダクターによるコミュニティ・スクールの推進。
- ・ 周防大島協育ネット（周防大島町小中合同学校運営協議会）の開催。
- ・ パンフレット「周防大島町教育委員会 学校協育の概要」の作成。
- ・ 町内4中学校全てをモデル中学校区に指定し、やまぐち型地域連携教育を推進。
- ・ 地域の人が集うコミュニティルームの設置。会議室や音楽室を地域の生涯学習に開放。
- ・ CSコンダクター、派遣社会教育主事、指導主事による学校運営協議会等への支援。
- ・ 小中学校9年間を見通した地域カリキュラムや家庭学習の手引きの作成。
- ・ CS関係者協議を月2回開催することによる確実な情報共有。

○ 上関町における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

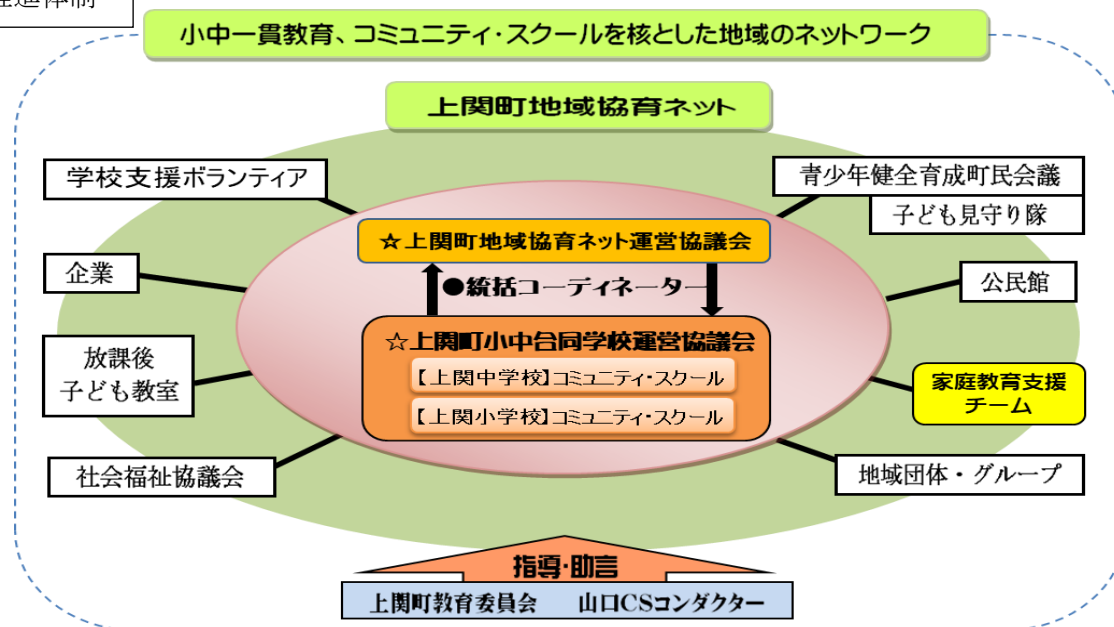
① 基本方針

上関小学校と上関中学校がコミュニティ・スクールとなり3年目となる。本町では、従来から取り組んでいる小中一貫教育の活動を生かすことで、小中一緒に地域の方と活動したり、小中合同の学校運営協議会を開いたりするなど、育てたい子ども像を町全体で共有しながら、社会総がかりの上関町教育をめざして取り組んできている。

地域協育ネットにおいては、心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、学校・家庭・地域が相互に連携し、学校での教育活動への支援（学校支援ボランティア等）及び放課後等における子どもの安全で安心できる居場所づくり（放課後子ども教室）を推進している。また、平成29年度中には家庭教育支援チームの体制を整え、家庭での教育活動への支援も推進していく。

このように、本町ではコミュニティ・スクールを核とした地域連携を進めることで、学校・家庭・地域が一体となり、子どもの学びや育ちを支援していく。

② 推進体制



③ 町教育委員会の具体的な取組等

- 上関町小・中合同学校運営協議会や各学校運営協議会の指導・支援
 - ・コミュニティ・スクールの機能充実にに向けた取組への支援
 - ・上関中校区全体のテーマの整理と学校課題解決に向けた方策の検討・実施への支援
 - ・テーマや学校課題、学校評価等をもとにした熟議と具体的な取組の実施への支援
- 上関町地域協育ネットへの支援
 - ・上関町地域協育ネット運営協議会への支援
 - ・放課後子ども教室への運営支援
 - ・統括コーディネーターや学校関係者をはじめ、各団体との連携・支援
- やまぐち型地域連携教育の周知および研修
 - ・教員だけでなく、町行政職員・一般町民を対象にした講座や研修機会の充実

○ 田布施町における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

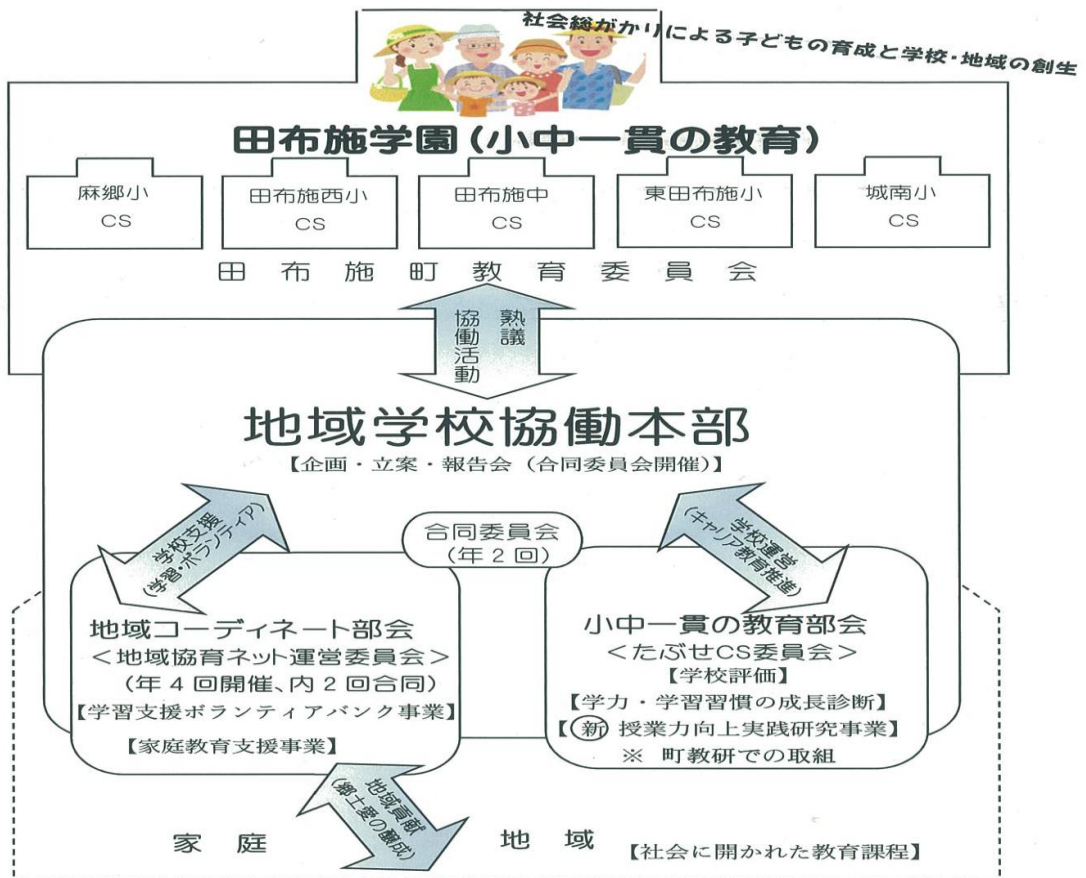
① 基本方針

- コミュニティ・スクールと地域協育ネットが連携し、学校を支援する取組を推進する。
- コミュニティ・スクールの機能を基盤にした小中一貫の教育を推進する。

② 推進体制

平成 29 年度

田布施学園構想



③ 町教育委員会の具体的な取組等



【小中CS合同熟議】

「ふるさとを愛する子どもの育成」をテーマに、熟議をしている様子



【町の未来を考える会】

熟議から実践へ！「ふるさとを知る」取組の一環として町長との座談会（小学校）

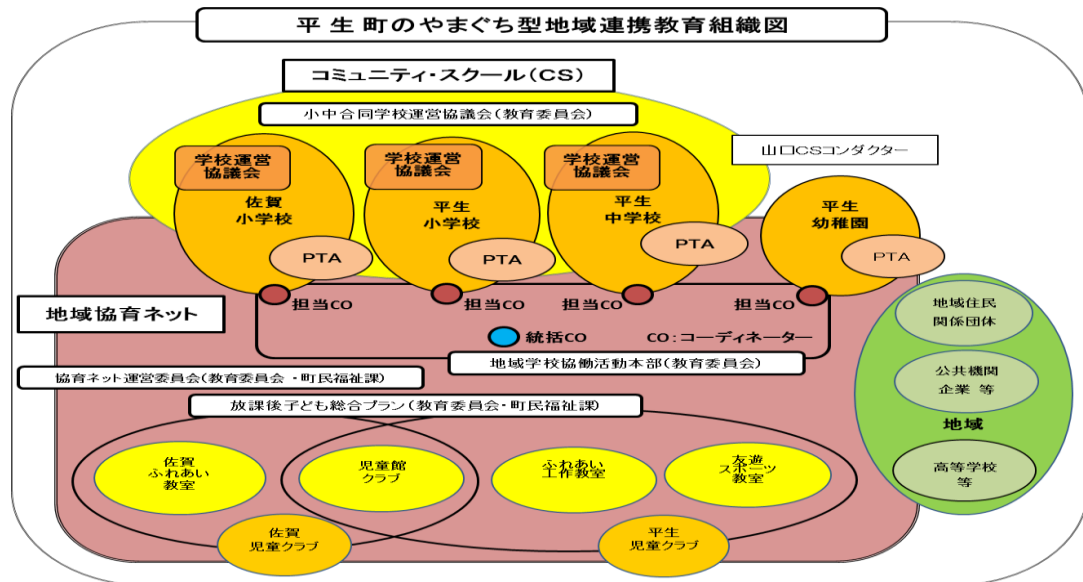
○平生町における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

家庭・地域とのつながりを深め、
「信頼される学校づくり」、「開かれた学校づくり」を推進するために

① 基本方針

- 学校運営協議会の活性化による学校・家庭・地域一体となった教育実現への取組
- 小中合同学校運営協議会による情報の共有化及び小中・小小連携の強化
- CSコンダクターの支援による平生町における「やまぐち型地域連携教育」の取組の充実と水準の向上
- 平生町地域協育ネットの活用による地域全体での学校教育への支援体制づくりの推進
- 各校CSだよりや情報誌「クロッカス通信」などの情報発信による平生町における「コミュニティ・スクール」・「地域協育ネット」に対する理解・啓発の促進

② 推進体制



③ 平生町教育委員会の具体的な取組等

- 小中合同学校運営協議会において“めざす子どもの姿”の共有を図り、「あいさつ」をキーワードの一つに掲げた。各校やコミュニティ協議会等が連携して「あいさつ運動」を展開しており、毎回数多くの参加者と子どもたちのとの関わりが生まれている。
- CSコンダクターによる学校運営協議会への参画や学校訪問による管理職への助言が実施されており、学校・行政・地域との結び付きがより強くなってきた。
- 「平生町地域協育ネット運営委員会」により、目的やねらいを明確にした上で、学習支援活動、環境整備活動、見守り活動等、連携して子どもを見守り育てる様々な取組が推進されている。各幼稚園、小中学校にコーディネーターを配置し、学校と地域との連絡調整が良好に機能してきた。
- 各校CSだよりや情報誌「クロッカス通信」などの情報発信により、平生町住民への理解・啓発に努めた。

学校運営に係る取組

柳井市立余田小学校



6年生の道徳の授業において、学校運営協議会委員が話し合いに参加する場を定期的に設けた。学校の状況に直接触れてもらい、評価や学校運営に反映させた。

柳井市立小田小学校



道徳科に備えて実施された校内授業研究に学校運営協議会の委員が参加した。授業後の協議会では、育てたい子どもの姿について、活発に意見が交わされた。

柳井市立大畠小学校



学校運営協議会で、協育ネット5部会部長が中心となり、成果と課題について協議を行い、初の小中合同運動会開催に向け、地域と連携を図っていくことを確認した。

周防大島町立油田小学校



油田小学校の「強みと弱み」についての熟議を行い、地域としてどのような関わり方があるか、学校としてどのような取組が有効かについて様々な考えが出された。

周防大島町立森野小学校



学校運営協議会委員を交えた、11回にわたるユニット型研修を行うことによって、本校児童のめざす姿に迫ることができた。

上関町立上関小学校



子どもの心を育てるためにどうすればよいかを、小中一貫教育・コミスク研修会で協議し、あいさつ週間を設け、校内だけでなく、地域でもあいさつ運動を行った。

コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティ への実感

柳井市教育委員会 山口CSコンダクター

中原 直巳



我が地域の子どもをより良くしようと、多くの地域の人たちが学校に集って進める学校支援活動から、地域の人同士の出会いやつながりがたくさん生まれ、多くの地域で昔から続く地域行事が改善されたり、楽しい催しが開催されたりするようになりました。これらは、まさに柳井市のめざす「学校を中心に、人づくり、まちづくりを進める地域」の具現につながるものです。

特記するものとして、学校ごとに立ち上げた応援団の活発な活動や、子どもたちが地域の人とともに企画・協働して地域を良くする活動を展開する生徒会コミット、市内全小学校で実施している大人と子どもで未来づくりを考える「町の幸福論」の授業等があります。これらは、地域創生活動の推進気運を確実に高め、コミュニティ・スクールから、スクール・コミュニティへと発展する力強い始動を実感しています。

学校運営に係る取組

田布施町立城南小学校



第2回学校運営協議会では、協議会委員と教職員が熟議を行い、地域と学校が課題を共有し、連携・協働して課題解決に取り組む体制作りをした。

平生町立平生小学校



学校運営協議会の委員が参加する「ユニット型研修」を2回実施した。授業や学級経営について、教員とは違う視点で多くの意見をいただいた。

柳井市立大畠中学校



ボランティア総会に教職員も全員参加し、学校にどのような支援が必要で、地域としてはどんな取組ができるかを小グループに分かれていろいろと話し合った。

周防大島町立久賀中学校



年間6回の学校運営協議会を小中合同で行い、9年間を見通した学力向上に向けて「久賀小中学校家庭学習の手引き」づくりに取り組んだ。

上関町立上関中学校



学校運営協議会委員に、小中一貫教育の話し合い（研修会）に参加していただき、意見交換を行った。

平生町立平生中学校



町内の小中学校の教職員による「小中連携教育合同研修会」を行った。中学校の授業を小学校教員が参観後、「ユニット型研修会」を実施した。学習面や生徒指導面における成果や課題など、大変活発な意見が交わされた。

コミュニティ・スクールで、明るい地域に

周防大島町教育委員会 山口CSコンダクター 川本 卓



「先生たちは忙しいじゃけえ、これからは放課後学習のプリントは自分たちで刷るよ」「雨が降ってミカン畑の仕事ができんから、授業を観に来た」「小学校の学習発表会で生涯学習作品展示スペースが設けられ、それを聞いたおばあちゃんが作品づくりに取り組み元気になった」「敬老会で小学生と一緒に歌ってから、子どもたちが手を振ったり挨拶をしてくれて嬉しい」「中学生の島外流出を防ぐために、〇〇中学校魅力化委員会を学校運営協議会の中に立ち上げよう」等々、明るい話が聞かれるようになりました。

過疎化・少子化・高齢化の流れを食い止めようと、町民と町行政は地域おこし・きめ細かな教育支援・福祉の充実に取り組んでいます。そして、平成25年度からスタートしたコミュニティ・スクールの取組も人々のつながりと呼び戻し、子どもたちの成長を支援し彼らの笑顔と成長を喜んでいます。

これからも、多くの方にCSを知っていただくこと、仲間を増やしていくことに取り組んでいきたいと思ひます。

学校支援に係る取組

柳井市立日積小学校



地域の陶芸家を授業に招へいし、5年生が焼き物「サンマ皿」作りにチャレンジした。子どもは楽しみながら、個性あふれる作品に仕上げることができた。

柳井市立柳井小学校



<柳井まつりで「ちびっこ屋台」を出店>
地域の商工会の方々から継続的に助言を受けながら、自分たちの力で出店準備、販売、決算等の活動を行った。

柳井市立柳東小学校



「芝生の運動場で運動したり遊んだりしてほしい」との願いから、地域住民が作る『芝生の会』が発足した。子どもたちは芝生の上を裸足で元気に走り回っていた。

柳井市立柳井南小学校



そろばんボランティアでは、4年生算数のそろばんの学習で、地域の方々に支援をいただき、児童は、楽しみながらそろばんの技能を上げることができた。

周防大島町立沖浦小学校



家庭科の作品を作る際、ミシン指導の補助をしていただいた。来てくださる方は、低学年の頃から関わっている方が多く、子どもの状態に応じた適切な声かけをしていただいている。

田布施町立麻郷小学校



夏休みに実施したサマースクールにおいて、地域の方に学習支援をしていただいた。多くの方と触れ合い、対話することで、効果的な学習ができた。

田布施町立田布施西小学校



参観日等がある際には、地域のボランティアの方によって託児ルームが開かれ、保護者の方が安心して学校の行事や活動に参加することができる体制が整備されている。

田布施町立東田布施小学校



毎週月曜日、学校支援ボランティアの方々が来校され、花を生けたり季節に合った掲示をしたりして、学習しやすい環境を整えてくださっている。

田布施町立城南小学校



5年生児童が、総合的な学習の時間に地域の防犯パトロール隊の皆さんに助言していただきながら、地域のKYTシート作りを行った。

学校支援に係る取組

平生町立佐賀小学校



学校園で、サツマイモの苗を植えた。地域の方が、手作りの道具を持ってきてくださって、児童に植え方を指導していただいた。野菜作りを通して、地域の方から様々なことを学んだ。

平生町立平生小学校



4年生が地域の方々に教わりながら、自分たちで栽培した大豆で味噌作りを体験した。出来上がった味噌は、来年度の給食や調理実習で使われる。

柳井市立柳井西中学校



学力向上対策の放課後学習会では、地域の元塾講師の方を講師として過去の入試問題に取り組み、生徒の応用力が高まった。

周防大島町立大島中学校



放課後学習会を学校運営協議会の方、大島商船高等専門学校の教授、学生の協力のもと行った。

周防大島町立安下庄中学校



日本舞踊の先生に大島音頭の踊り方を習った。一つ一つの所作の意味を解説していただき、美しい動きができるようになった。体育祭では、保護者や地域の方を交えて踊った。

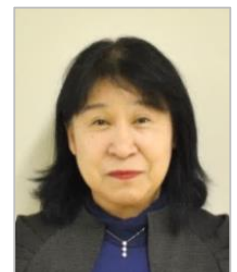
上関町立上関中学校



家庭科の授業で、上関町食生活改善推進員、町役場保健福祉課の方たちに協力していただき、地域ならではの料理づくりを体験した。

「あ行」のすすめ

上関・田布施・平生町教育委員会 山口CSコンダクター 窓原 恵美子



上関町、田布施町、平生町の3町は、『あいさつ』『笑顔』『元気』があふれる『住みよいまち』に向けて「教育の充実」人づくりに努めているところです。

どの町においても、学校、家庭、地域が協働して「ふるさとを愛し、心豊かに、生き抜いていく」心身ともに健やかな児童生徒が育っています。各学校では、児童生徒は郷土愛や自己肯定感、保護者や地域住民は自己有用感が高まっています。

明治150年、節目の年です。今年は、「あ行」をおすすめします。

「あ」・・・明るいあいさつ 「い」・・・生き生きいのち 「う」・・・うきうき WILL
 「え」・・・笑顔でえん 「お」・・・おおらかなおもいやり

地域貢献に係る取組

柳井市立柳北小学校



地域と共催の合同防災訓練を実施した。地区ごとに分かれ、各地区自治会長より学校外で地震等の自然災害が起きた場合の避難場所の確認があった。

柳井市立新庄小学校



全校児童が学校に隣接している土穂石八幡宮の参道や学校周辺の除草作業を行うなど、地域の環境美化を願い、清掃活動を行った。

柳井市立伊陸小学校



地域の伝統芸能である「伊陸神楽」の技能習得に熱心に取り組み、柳井まつりのしらかベネット・子ども広場では、たくさんの聴衆を前に披露した。

柳井市立平郡東小学校



学校前の海岸や平郡の景勝地の一つである、五十谷海岸の清掃を、島興し協力隊や地域住民の方々と共に楽しみながら行った。

周防大島町立久賀小学校



「チェロとものがたりの奏で～セロひきのゴーシュ」を保護者や地域の方にも公開し、学校が地域の文化ホールとなった。

周防大島町立三蒲小学校



<ふれあいの集いへの参加>
「いのちの歌」の合唱に加え、「さくらもみじ」を地域の方と合同演奏し、会場の皆さんと一緒に歌った。

周防大島町立島中小学校



<お年寄りサロン訪問>
子どもたちは地域のお年寄りからいろいろな話を聞き、地域のお年寄りからは「元気をもらえ」と喜ばれている。

周防大島町立安下庄小学校



校区にある養護老人ホームを訪問した。合唱や合奏を行った後、一人ひとりにプレゼントを手渡し、お年寄りとの会話を楽しんだ。

平生町立平生中学校



中学生が町内の高齢者の家庭や高齢者福祉施設に伺い、様々なお手伝いをする「ひらお手伝い隊」が実施された。地域や高齢者から礼状や感謝の言葉をいただき、生徒の自己有用感の醸成につながった。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

柳井市立柳東小学校



「しらかベネット」の取組の一環で、地域企業に支援いただき、柳井まつりに「ちびっ子屋台」を出店している。キャリア教育や金銭教育につながる充実した取組となっている。

柳井市立余田小学校



「花いっぱい町に…」という小学生の提案を受け、地域の方々が、学校と公民館の間にある花壇にチューリップの球根を植えることを計画・実施し、継続的に管理している。

柳井市立伊陸小学校、コミュニティ、学校運営協議会、地域住民



6年生児童が、地域に向けて「伊陸夢プラン」のプレゼンテーションを行い、世代を超えて協議した。

柳井市立小田小学校、県立柳井商工高校



同じ校区内の柳井商工高校の生徒と柳井織を織った。商標登録、商品開発を進め伝統の復活に尽力する先輩の姿に刺激され、伝統の継承への思いを強くしていた。

周防大島町立三蒲小学校、明新小学校、沖浦小学校



地域のシニアクラブの指導の下、「竹とんぼ作り」を大島地区3校合同で実施した。当日は羽を削ったり、中心をとったりして、空高く舞い上がる竹とんぼに歓喜した。

周防大島町立城山小学校



今年度の城山フェスティバルでは、昨年度にみかんの木で作った楽器を用いて地域の方と一緒に演奏と合唱を行った。初めての取組だったが、大成功だった。

周防大島町立浮島小学校



すべての島民が主役の島の運動会。江ノ浦と樽見=江樽(えんたる)対抗の綱引きには、子どもから高齢者の皆さん・ALTも参加した。力が入り、勝利の後の尻餅に、参加者の笑顔があふれた。

上関町立上関小学校



こま、めんこ、折り紙、お手玉、あやとり等、地域のお年寄りの方に教えていただきながら「昔の遊び」を楽しんだ。

平生町立佐賀小学校



佐賀小学校運動会では、本校卒業生の中学生が進行・運営に参加した。また、学校支援ボランティアの方々と子どもたちとの競技を実施するなどして、連携の推進に努めている。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

柳井市立柳井中学校



「柳中コミュット(地区生徒会)」で、地区ごとに清掃を行った後、自分たちの地域のいいところを地域や保護者の方々と一緒に歩きながら探し、マップを作成した。

柳井市立新庄小学校、余田小学校、柳井西中学校



〈出前あいさつ運動〉
希望を募って中学生が小学校へ出向いて登校時にあいさつ運動を行い、あいさつのお手本を見せることができた。

柳井市立柳井南中学校



3年生の家庭科において、母子福祉推進協議会と連携して「子育て輪づくり」の触れ合い活動を行った。赤ちゃんを抱っこして命の大切さを知った。

【うずしおネット】

柳井市立大畠小学校、大畠中学校



立志式に小学生や地域の方を招待し、地域ぐるみで2年生の成長を祝った。豚汁の炊き出しや餅つきの準備を全て地域の方にさせていただき、地域の方と会食した。

周防大島町立東和中学校



地域のイベントにおいて、起業家体験学習の販売実習を行った。仕入れ資金は地域の人から融資させていただき、売り上げに配当をつけて返金し、残りは地域貢献として寄贈した。

田布施町立田布施中学校



校内コーディネーターが中心となり、コミュニティ・ルームで地域に住む幼児と中学生との交流会を行った。中学生にとっても自己肯定感を高める大変有意義な活動となった。

学校が「笑顔の花の咲くところ」になるように

柳井西中学校区地域協育ネット コーディネーター

中澤 明子



西中校区では「子どもたちの笑顔に会いに来ませんか」をキャッチフレーズにサポーターを立ち上げ、放課後学習会や定期的な図書室の地域開放を行っています。本を読みに来校していただくと、子どもたちが合唱をしている声や体育をしている姿を見て元気になれる特典付きです。三か月おきにはサポーターが朗読劇やブックトークなどのイベントを企画して地域の方々との交流の場づくりを楽しんでいます。学校が「笑顔の花の咲くところ」として、地域の方々の集える温かい居場所になり、子どもたちが地域の方々の楽しそうな姿を見て、大人になることを心待ちにするようなふるさとづくりを、ワクワクしながら地域の皆様と活動していこうと思います。